



hp
拡張接続
モジュール

リリースノート

このファイルはユーザーズガイド第3版の補足用で、ファームウェアバージョン2.1に対応しています。このファイルには以下の項目に関する最新情報が記載されています。

コンパクトフラッシュメモ리카ード用スロットを選択する	2
正しく表示されないメモ리카ードの PowerPoint PPT ファイルを修正する	2
PowerPoint ファイルでサイズの大きなグラフィックスを小さくする	2
メモ리카ードプレゼンテーション用の PowerPoint 機能を選択する	2
携帯端末またはメモ리카ード用にモバイルプレゼンテーションを作成する	3
縦向き用紙設定の文書からモバイルプレゼンテーションを作成する	3
プレゼンテーション用のメモ리카ードを選択する	3
メモ리카ードの画像を表示する	3
接続モジュールのポートを確認する	3
プロジェクタのセキュリティを強化する	3
ワイヤレスネットワークを使用する	4
パーソナルファイアウォールとの接続を行う	4
ワイヤレス接続を行う	4
ダイレクトネットワーク接続を行う	4
ワイヤレス接続とケーブル接続を同時に設定する	5
携帯端末の Pocket PC からプレゼンテーションを行う	5
Apple Macintosh のサポート	5
HP Wireless Presenter-to-Go ソフトウェアをインストールする	5
Wireless Presenter-to-Go ソフトウェアをアップグレードする	6
プロジェクタファームウェアをアップグレードする	6
メモ리카ードの PowerPoint プレゼンテーションでサポートされる機能	6

最新のリリースノートについては、サポート Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。

コンパクトフラッシュメモ리카ード用スロットを選択する

接続モジュールの左側のコンパクトフラッシュスロットにセットしたメモ리카ードが正しく動作しない場合、カードを右側のスロットに入れ替えてください。接続モジュールの一部のバージョンでは、左側スロットのメモ리카ードで通信上の不具合が発生する場合があります。ただし、ワイヤレスネットワークカードは本スロットでも正常に動作します。

正しく表示されないメモ리카ードの PowerPoint PPT ファイルを修正する

PowerPoint PPT スライドの特定の要素が見つからなかったり、正しく表示されない場合は、以下の方法で対処してください。

- スライドにサイズの大きな画像が含まれていたり、複数のフォントが使用されている場合、このスライドがプロジェクトで利用できる容量以上のメモリを必要としている可能性があります。使用するフォントの種類を減らすか、メモリの使用量の少ないフォントを使用してみてください（各フォントのファイルサイズはメモ리카ードのフォントフォルダで確認できます）。または、グラフィックのメモリサイズを減らします（次のトピックを参照）。
- メモ리카ードの PowerPoint PPT ファイルを表示する際、PowerPoint 機能の一部はサポートされません。サポートされる機能を使用してスライドを編集してください（この下の 2 番目のトピックを参照）。

PowerPoint ファイルでサイズの大きなグラフィックスを小さくする

プロジェクトのメモリ仕様により、メモ리카ードから PowerPoint ファイルを表示する際にサイズの大きな画像が表示されない場合があります。この場合、編集ソフトなどを使用して画像サイズを小さくすることができます。または、PowerPoint で以下のステップを実行して画像サイズを小さくします。

1. グラフィックを右クリックし、**コピー**を選択します。
2. **編集 > 形式**を選択して貼り付けをクリックし、PNG 形式で貼り付けるオプションを選択します。
3. 古い画像を削除します。

このほかに、画像サイズを小さくする方法として、PDB ファイルでモバイルプレゼンテーションを作成する方法もあります。

メモ리카ードプレゼンテーション用の PowerPoint 機能を選択する

（PC を使用しないで）メモ리카ードから直接プレゼンテーションを表示する際、プロジェクトはメモ리카ードに記録された情報のみ利用できます。つまり、プロジェクトは Microsoft PowerPoint アプリケーションにはアクセスできません。本プロジェクトは PowerPoint 2002 のほとんどの機能を提供しますが、メモ리카ードからプレゼンテーションを行っている間には一部の機能がサポートされません。予期せぬ問題を避けるため、PowerPoint PPT ファイルまたはモバイルプレゼンテーションの PDB ファイルのどちらかでサポートされる機能を選択してください。この文書の最後に記載された、サポートする PowerPoint 機能一覧表を参照してください。

携帯端末またはメモリカード用にモバイルプレゼンテーションを作成する

HP Wireless Presenter-to-Go を使用して PowerPoint でモバイルプレゼンテーションを作成することができますが、場合によっては、作成したモバイルプレゼンテーションから特殊フォント、縦書き文字列、矢印の先など、PowerPoint の要素の一部が失われることがあります。このような場合は、Wireless Presenter-to-Go クリエータウィンドウで低めのアニメーション設定を選択してください。

縦向き用紙設定の文書からモバイルプレゼンテーションを作成する

アプリケーションから印刷する方法でモバイルプレゼンテーション (PDB ファイル) を作成したい場合、ページ設定を最初に確認してください。ページ設定が縦方向(縦のレイアウト)の場合、以下のいずれかの方法を実行して、プレゼンテーションのページの一番下の部分がなくならないようにしてください。

- 印刷前に、文書の向きを横方向(横のレイアウト)に変更する。
- 印刷ウィンドウで、プリンタのプロパティを縦方向 (縦のレイアウト) に変更する。

プレゼンテーション用のメモリカードを選択する

本プロジェクトは数種類の標準タイプのメモリカードをサポートしており、カードをコンパクトフラッシュ用スロットまたは USB ポートに装着することができます。サポートするメモリカードは HP またはその他の製造メーカからご購入いただけますが、一部の USB 2.0 対応メモリカードなど、メモリカードまたはアダプタによっては本プロジェクトで正しく動作しないものがあります。このようなメモリカードまたはアダプタをお持ちの場合、別のメーカまたは別のタイプのメモリカードをお試しく下さい。例えば、SD メモリカード (DG921B) 付き HP USB デジタルドライブは本製品に対応しています。

メモリカードの画像を表示する

メモリカードから画像プレゼンテーションを表示している場合、次のような理由で画像が失われ、画像ではなく「X」(不明な画像)が表示されることがあります。

- 画像サイズが 3.5MB 以上か、画像がプロジェクトで利用できる容量以上のメモリを必要としています。ファイルサイズを確認し、大きな画像があれば編集するか、3.5MB 以下のサイズになるように JPG フォーマットに変換します。
- 画像ファイルが有効な JPG、BMP、または PNG ファイルではありません。
- ファイル名に無効な文字 (¥ / : * ? " < > , | [] ; =) が含まれます。

接続モジュールのポートを確認する

一部の接続モジュールでは、USB ポートとコンパクトフラッシュスロット (1 個) にラベルが貼られている場合があります。これらのポートを使用する際は、ラベルをはがしてください。マイク入力端子の使用はサポートされていません。

プロジェクトのセキュリティを強化する

本プロジェクトには不正なアクセスを防ぐためのセキュリティ機能がいくつか用意されています。これらの設定はすべてプロジェクト内蔵の Web サーバで行うことができます。プロジェクトを保護するには、次のうち、最初の 2 つのオプションが必須です。

- 管理者パスワード。**ネットワーク > 管理者アカウント**の順に選択します。内蔵 Web サーバのほとんどの設定への不正アクセスを防止することができます。このパスワードは以下に示すセキュリティ設定もすべて保護します。
- SNMP コミュニティ名。**ネットワーク > SNMP** の順に選択します。内蔵 SNMP サーバへの読み取り専用および読み書きアクセス用の保護されたコミュニティ名を指定することができます。
- Wireless Presenter パスワード。**ネットワーク > Wireless Presenter** の順に選択します。有線またはワイヤレス接続による不正なネットワークプレゼンテーションを防ぐことができます。
- WEP 暗号化および共有モード認証。**ネットワーク > ワイヤレス設定** の順に選択します。暗号化キーおよびキーインデックスを設定し、これらを使用してワイヤレス接続を認証し、無線データを暗号化します。
- アクセス制御。**ネットワーク > アクセス制御**の順に選択します。プロジェクトへのアクセスが許可される IP アドレス範囲を指定できます。

ワイヤレスネットワークを使用する

他のコンピュータやインターネットへの接続にワイヤレスネットワークを使用している場合、HP Wireless Presenter-to-Go を実行するとこれらに接続できなくなります。このソフトウェアは、実行中にワイヤレスネットワークサービスを無効にし、終了時にサービスを有効に戻します。通常のワイヤレスネットワークに戻したり、使用可能なネットワークを表示するには、あらかじめ HP Wireless Presenter-to-Go を終了してください。

パーソナルファイアウォールとの接続を行う

お使いのコンピュータにパーソナルファイアウォールがインストールされている場合でも、本プロジェクトにネットワーク経由で接続できます。

- ファイアウォールソフトウェアを無効にした場合、HP Wireless Presenter-to-Go の起動時に使用可能なプロジェクトが一覧表示されます。
- ファイアウォールソフトウェアを無効にしないとプロジェクト一覧は表示されません。この場合、その他のプロジェクトをクリックし、プロジェクトのネットワーク設定を入力すれば接続できます。

ワイヤレス接続を行う

プロジェクトの電源がオフになっていると (スタンバイモードの場合)、ワイヤレス接続を行うことができません。コンパクトフラッシュワイヤレスカードを使用するには、プロジェクトの電源をオンにしてください。

ダイレクトネットワーク接続を行う

コンピュータとプロジェクトをダイレクトネットワークで接続する必要がある場合は、標準のネットワークケーブルではなく、ネットワーククロスケーブルを使用してください。このような接続が必要なのは、標準のネットワーク接続を使用せずにファームウェアをアップグレードするときです。ただし、このような場合は、コンピュータとプロジェクトの両方でネットワークの設定を行う必要があります。

- コンピュータで、ネットワーク接続のプロパティを開いて、TCP/IP を編集します。自動アドレス指定 (DHCP) を無効にして、コンピュータの IP アドレスを設定するか、書き留めます。例えば、10.2.3.4 のように IP アドレスを設定することができます。
- プロジェクタのオンスクリーンメニューを開き、セットアップ > ネットワークを選択します。DHCP オプションを無効にし、IP アドレスを 4 番目のフィールド (サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合) のコンピュータアドレスとは別の値に設定します。例えば、10.2.3.5 のように IP アドレスを設定することができます。

ワイヤレス接続とケーブル接続を同時に設定する

プロジェクタでケーブル接続とワイヤレス接続の両方を設定する場合、ケーブル接続とワイヤレス接続の IP アドレスはそれぞれ別のネットワーク サブネット上に指定してください。つまり、アクセスポイントとプロジェクタはネットワークの同じセクションに接続されていないことになります。詳しくは、ネットワーク管理者にご確認ください。

2 つのサブネットにアクセスできないと、Wireless Presenter-to-Go ではどちらの接続モードも利用不可になる場合があります。ただし、プロジェクタに接続してプレゼンテーションを行うことは可能です。

携帯端末の Pocket PC からプレゼンテーションを行う

携帯端末の Pocket PC に HP Wireless Presenter-to-Go をインストールすると、プロジェクタのスクリーンに Pocket PC の画面を表示できるオプションが追加されます。

- Pocket PC の画面を表示するには、Wireless Mirror プログラムを起動して、接続先のプロジェクタを選択し、**Connect** をタップします。Wireless Mirror 画面を閉じるには、**Hide** をタップします。
- 投影画像を変更するには、Wireless Mirror プログラムを開いて、スクリーンに表示されているオプションの中から必要な項目を選択します。例えば、投影画像を拡大したり回転したりすることができます。
- プレゼンテーションを終了するには、Wireless Mirror プログラムを開いて、ワイヤレスアイコンをタップして、次に **Disconnect** をタップします。

Apple Macintosh のサポート

Apple Macintosh コンピュータを使用して内蔵の Web サーバ経由でプロジェクタを管理できます。本プロジェクタは、ユーザズガイドに記載のブラウザのほかに、Mac OS X バージョン 10.2 またはそれ以降で提供される Safari Web サーバをサポートしています。

Internet Explorer を使用してプロジェクタのファームウェアをアップグレードする場合、Internet Explorer が正しく処理できるように、Web からダウンロードした DLD ファイルの名前を変更する必要があります。DLD ファイルをダウンロードしたら、ファイル名の最後に“.binary”を追加し、その後プロジェクタをアップグレードしてください。

HP Wireless Presenter-to-Go ソフトウェアをインストールする

コンピュータに HP Wireless Presenter-to-Go をインストールした後プレゼンテーションを開始するとプレゼンテーションエラーが表示される場合は、コンピュータを再起動してみてください。一部のコンピュータではこのステップが必要です。

Wireless Presenter-to-Go ソフトウェアをアップグレードする

HP では今後、HP Wireless Presenter-to-Go のバージョンアップを行う場合があります。最新バージョンは、このドキュメントの最初に記載されているサポート専用 Web サイトからダウンロードしてご利用いただけます。

プロジェクタファームウェアをアップグレードする

ネットワーク接続を使用してプロジェクタのファームウェアをアップグレードする場合、ブラウザでポップアップウィンドウをブロックしないように設定してください。アップグレードを行うには、ポップアップウィンドウを有効にしておく必要があります。

メモ리카ードの PowerPoint プレゼンテーションでサポートされる機能

以下の表は PowerPoint 2002 の機能一覧と、PowerPoint PPT ファイルまたはモバイルプレゼンテーション PDB ファイルの表示中にこれらの機能がサポートされるかどうかを示します。PowerPoint 2003 以降に追加された新機能はサポートされません。以下の表の情報は変更される可能性があります。

Microsoft PowerPoint 2002 の機能	PowerPoint プレゼンテーション (PPT ファイル)	モバイルプレゼンテーション (PDB ファイル)
基本機能:		
ヘッダーとフッター	可	可
サウンド	不可	不可
ムービー(ムービーとしてエクスポート)	不可	不可
描画ツール	不可	不可
オートシェープ	可、フリーハンドの線は除く	可
塗りつぶしカラー、線カラー、フォントカラー	可	可
ポイント編集	不可	不可
3D スタイル	不可	不可
3D 効果	不可	不可
図	可	可
Word Art	不可。プレースホルダが表示される。	可
フォーム	不可	不可
検索	不可	不可
XML (XHTML)	不可	不可
グリッド	不可	不可
電子メール	不可	不可
バック	不可	不可
箇条書き(行頭文字)	可	可
箇条書き(ユーザ定義)	可。ただし、行頭文字用フォントがない場合は別の文字に置換。	可
図の箇条書き	可	可
箇条書き番号(番号、文字)	可	可
傾斜	一部可。	可
中央または角からの傾斜	不可	可
画像のコントラストおよび明るさ調整	不可	可
インタレース JPEG 画像	可、最大 1024x768	可

Microsoft PowerPoint 2002 の機能	PowerPoint プレゼンテーション (PPT ファイル)	モバイルプレゼンテーション (PDB ファイル)
サイズの大きな画像	スライドの残り部分の表示後に使用可能なメモリ容量に依存。	可
フォント調整およびラッピング	フォントが利用できる場合は可。フォントの置換が必要な場合、正しく行われない場合がある。	可
太字フォント	演算され幅広に調整されるが、コンピュータのように表示されない場合がある。	可
斜体	演算され傾斜調整されるが、コンピュータのように表示されない場合がある。	可
影の付いた文字	可、ただし影はグレーになる。	可
シャドウ効果	不可	可
模様線	不可	可
日付/時間メタタグ	不可	PDB ファイルを作成した日付/時間を表示。
縦書き文字列のセンタリング	不可	可、例外あり。
文字列の自動調整	一番下の文字列の切り落としあり。	可
不規則な形状の塗りつぶし	不可	可
アニメーションおよびトランジション効果:		
複数オブジェクトの同時アニメーション化	不可	不可
ブラインド(全方向)	可	可
ボックス(全方向)	可	可
チェッカーワイプ(全方向)	可	可
くし形(全方向)	アピールとして表示	ブラインドとして表示
スライドアウト(左、右、上、下)	アピールとして表示	ワイプとして表示
スライドアウト(対角)	アピールとして表示	可
カット	アピールとして表示	可
カット (黒いスクリーンから)	アピールとして表示	アピールとして表示
ディゾルブ	可	可
フェード (全バリエーション)	アピールとして表示	アピールとして表示
ニュースフラッシュ	アピールとして表示	アピールとして表示
プッシュ(全方向)	アピールとして表示	ワイプとして表示
ランダムストライプ(全方向)	可	ブラインドとして表示
シェープ (サークル、ダイヤモンド、プラス)	アピールとして表示	ボックスワイプアウトとして表示
スプリット(全方向)	可	可
ストリップ(全方向)	可	可
スライドアウト(左、右、上、下)	アピールとして表示	ワイプとして表示
スライドアウト(対角)	アピールとして表示	スライドアウトとして表示
くさび形 (全バリエーション)	アピールとして表示	アピールとして表示
ワイプ (全方向)	可	可
ランダムトランジション	可	可
エントランス効果:		
アピール	可	可
ボックス	可	可
サークル	不可。アピールとして表示	不可。アピールとして表示

Microsoft PowerPoint 2002 の機能	PowerPoint プレゼンテーション (PPT ファイル)	モバイルプレゼンテーション (PDB ファイル)
フラッシュ (速く)	不可。アピールとして表示	可
ピークイン	不可。アピールとして表示	可
ランダムストライプ	可	可
スプリット	可	可
くさび形	不可。アピールとして表示	不可。アピールとして表示
ワイプ	可	可
ブラインド	可	可
チェッカーワイプ	可	可
クロールイン	不可。アピールとして表示	可
ディゾルブイン	可	可
スライドイン	不可。アピールとして表示	可
プラス	不可。アピールとして表示	不可。アピールとして表示
ランダム	不可。アピールとして表示	不可。アピールとして表示
ストリップ	可	可
ホイール	不可。アピールとして表示	不可。アピールとして表示
巧妙効果 (全バージョン)	不可。アピールとして表示	不可。アピールとして表示
控えめ効果 (全バージョン)	不可。アピールとして表示	不可。アピールとして表示
はなやか効果 (全バージョン)	不可。アピールとして表示	不可。アピールとして表示
強調効果	不可	不可
アニメーションの軌跡効果	不可	不可
終了効果	不可	不可
効果のプレビュー	不可	不可